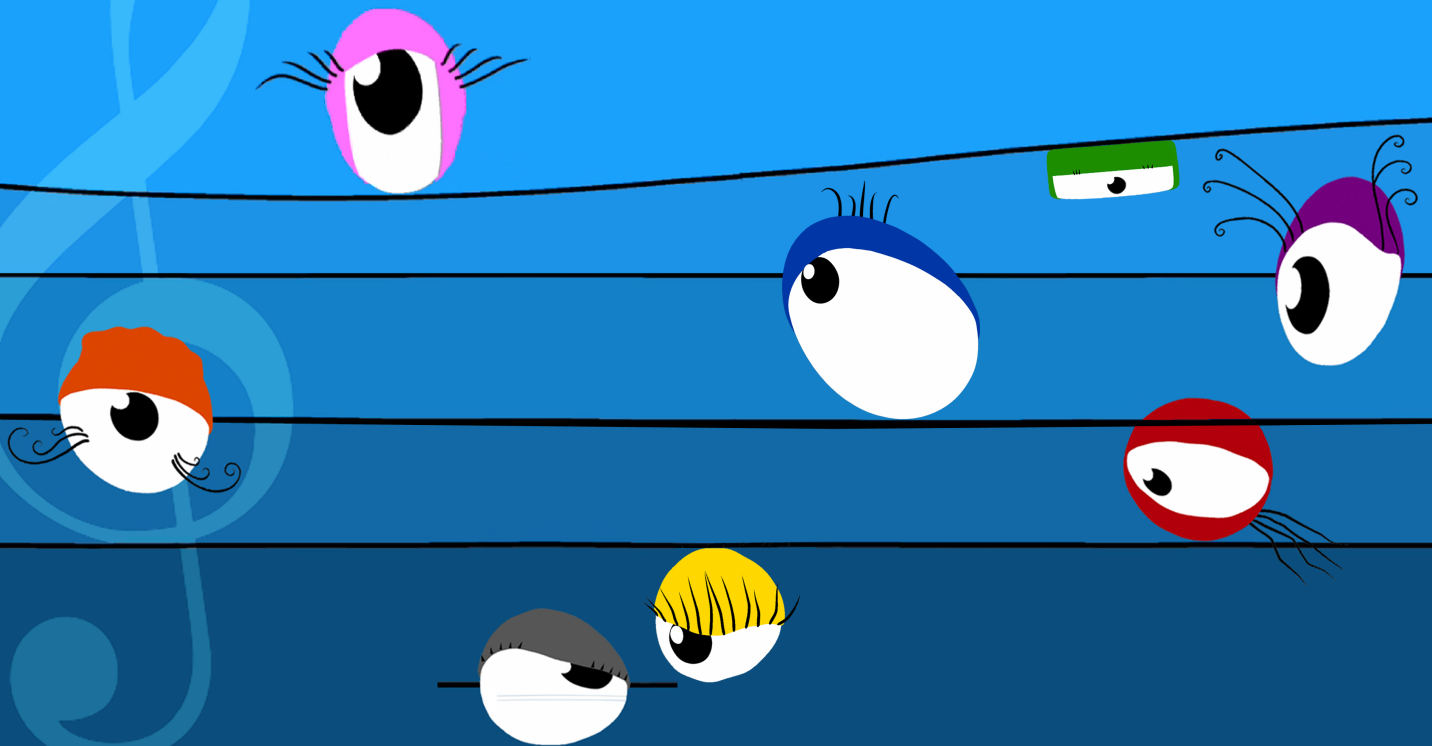


「ラ」は恥ずかしがり屋の小さな男の子。線の上でいつも一人ぼっちで歌っていました。ある日、泣いている小さな女の子「ミ」に出会い、友達の実在を知ります。そして友達と一緒に歌うことで、それがメロディーになることに気づくのです。

1話毎に友達が増えるにしたがって、メロディーも広がります。また、友達って何？普通って何？ 小さな子供の素朴な疑問をぶつけていきます。答えは見つかるのでしょうか？



TITLE : LAMI

FORMAT : 10 x 2' 30

GENRE : Musical

AUDIENCE : Family, Kids from 3 years old

YEAR OF PRODUCTION : 2013 - 2014

Created by Christophe et Olivier Defaye

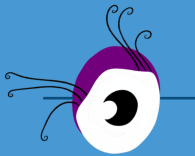
Music by Gabriele Roberto

このシリーズは、色、形、性格の異なる「音符」がキャラクターです。キャラクターにすることにより、子供達は新しい楽しみ方で音楽の世界を発見していきます。



## WHOLE NOTE REST

歌わない記号で、他のみんなが歌うことを止めてしまう。しゃっくりをするように自分の行動をコントロールすることができない。



## SI

物知りな女の子。保守的で大人。星の王子さまに出てくるバラの花のように繊細。



## LA

恥ずかしがり屋で素直な小さな男の子。線の上でいつも一人ぼっち。彼は夢見がちな小さな哲学者である。友達の意味をいつも考えている。



## SOL

うぬぼれ屋。一番自分が綺麗で、最も美しい声を持っていると思っている。



## FA

いつも上の空。自分の番なのによく歌うことを忘れてしまう。



## MI

元気な勇敢な、女の子。でも時々落ち込んでしまうこともある。そしてちょっと気まぐれ屋。



## RE

遊ぶのが大好きな男の子。落ち着きがなく、とても活発。ドといつも言い争っている。



## DO

やんちゃな小さな男の子。おこりんぼう。レといつも言い争っている。

友達存在を意識し始める3歳～6歳の子供を対象とし、友達を探し、友達の意味を知ることが軸に物語は進んでいきます。線の上にいる小さな子供達。彼らは、歌うことが大好きな「音符」です。音符達は、自分の音階(ド、レ、ミ...)しか歌えません。例えば、ラは「ラ」しか歌えません。ナレーターがストーリーと会話を語ります。各音符は、歌い笑い泣く、または擬音語での表現しかしません。